

世界の“極地”4カ国の課題に挑む「目薬」が登場！

ラクダに乗りながら…？ 下を向いたまま…？

まったく新しい目薬の企画展

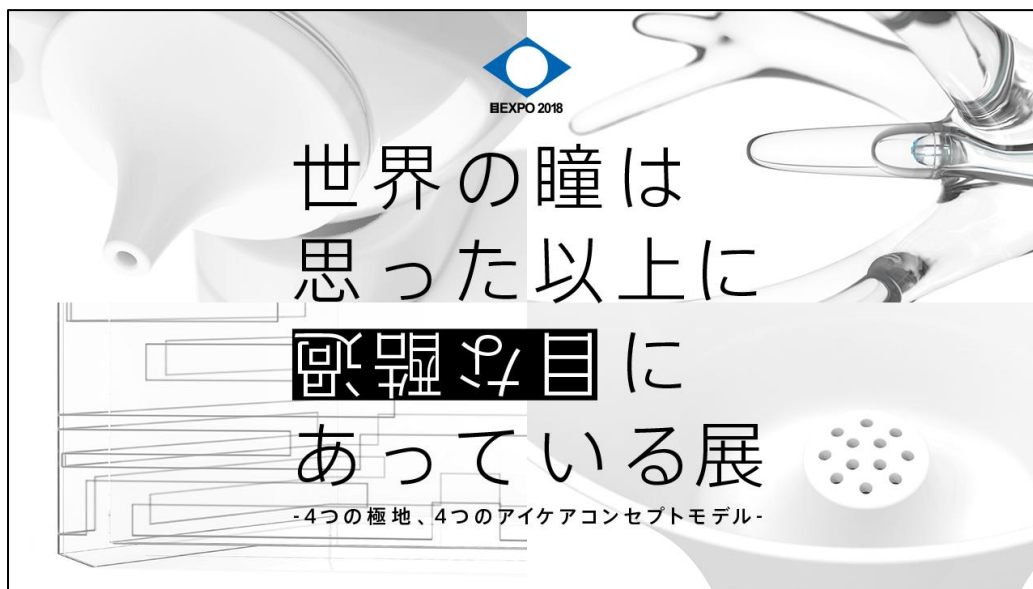
「世界の瞳は思った以上に過酷な目にあっている展」

2018年7月8日（日）開催

ロート製薬株式会社（本社：大阪市生野区、代表取締役社長：吉野俊昭、以下「ロート製薬」）では、目薬発売110周年を迎えるにあたり、2018年7月8日（日）、代官山ヒルサイドテラス ANNEX-Aにおいて、**瞳の健康にとって“極地”と言える世界4カ国の課題に挑む目薬の企画展「世界の瞳は思った以上に過酷な目にあっている展～4つの極地、4つのアイケアコンセプトモデル～**」（以下、「過酷な目にあっている展」）を開催いたします。

※資料内の写真はイメージです。実物とは異なる場合がございます。

■ 目薬発売 110 周年を迎えるにあたり、ロート製薬が開催する「過酷な目にあっている展」



「NEVER SAY NEVER」をコーポレート・アイデンティティとするロート製薬では、これまでさまざまな革新的アイデアと行動力で、生活者の瞳の健康を守り続けてまいりました。

今回の「過酷な目にあっている展」は、そんなロート製薬が、目薬発売110周年を迎えるにあたって実施する企画展です。「まだ世界のどこにもない目薬」をテーマに、常識の枠を超えたチャレンジスピリットと、「ひとりひとりの瞳を真剣に考え、世界中の瞳に健康を届けていきたい」というロート製薬の想いをお届けします。

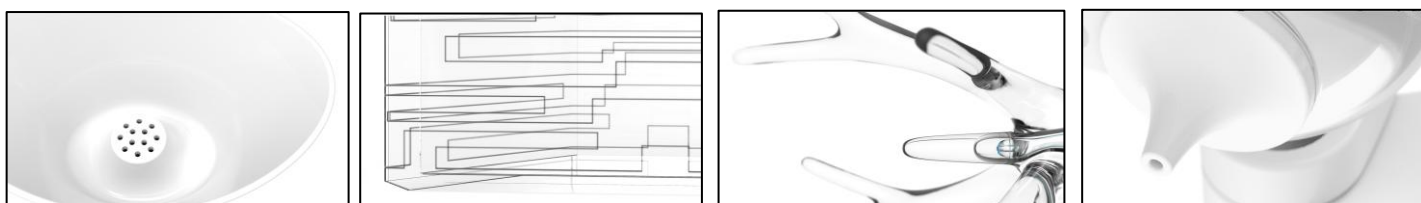
■ 瞳にとっての“極地”といえる 4 か国の課題に挑む、目薬のコンセプトモデルを展示

「過酷な目にあっている展」では、**瞳にとっての過酷な環境を世界中から選び出し、その課題に挑む「目薬のコンセプトモデル」**を4タイプ披露。砂漠に覆われた国 = カザフスタン、紫外線の強い国 = オーストラリア、寒さの厳しい国 = アイスランド、そしてブルーライトに悩まされる国 = 日本の4か国を、瞳にとっての“極地”と設定し、現地リサーチをもとに、それぞれの課題に立ち向かう、少し行き過ぎた目薬のアイデアを考案しています。果たして課題は解決できるのでしょうか。

■ 4 つの目薬コンセプトモデル…カザフスタン向けの目薬は、砂漠でもさせるジャイロ機能付き目薬!?

イベント会場では、4か国それぞれの課題に挑む目薬のコンセプトモデルを展示。例えば、国土の7割近くが砂漠に覆われた国・**カザフスタンの場合は、不安定な場所でもバランスを保ちながらさせるジャイロ機能付き目薬**。ラクダの上、地すべりなど、どんな揺れが起きても常に瞳に追従して目薬がさせるイメージを元に制作しています。

その他にも、紫外線の強い国・オーストラリアの場合は、**太陽のほうを見上げることなく、下を向いたまま点眼できるように、超音波で蒸気が発生するイメージ**を取り入れるなど、まだ世界のどこにもない、まったく新しい、むしろ新しすぎる目薬のデザインを提案しています。



■ 目薬コンセプトモデルの制作パートナーは、金沢を代表するものづくり集団「secca（雪花）」

今回のコンセプトモデルの制作パートナーは、**金沢を拠点に活動するものづくり集団「secca（雪花）」**。伝統工芸技術と、最先端の3Dデジタル技術の融合を図った、新たなものづくりの価値を創造する独自の視点が、斬新な目薬デザインに活かされています。一部のコンセプトモデルは、実際に触れて楽しむことも可能です。

■ 目にやさしいお茶が無料で楽しめるカフェスペースも展開

さらに、当日の会場では、**目にやさしいお茶が無料で楽しめるカフェスペース**も展開。ブルーベリーの約2倍のアントシアニンが含まれる青いハーブティー「**バタフライピー**」、目（eye）が輝く（bright）ほど綺麗になることが名前の由来とされる「**アイブライ**」の2種類をセルフサービス形式で提供しています。

◇ 実施概要

- ・イベント名：「世界の瞳は思った以上に過酷な目にあっている展～4つの極地、4つのアイケアコンセプトモデル～」
- ・会場：代官山ヒルサイドテラス ANNEX-A（東京都渋谷区猿樂町29-21）
- ・アクセス：東急東横線「代官山駅」下車 徒歩3分
- ・開催期間：2018年7月8日（日）10:00～18:00
- ・会場URL：<http://hillside terrace.com/>
- ・特設サイトURL：<https://www.rohto.co.jp/company/vision/event>

◇「secca（雪花）」について

secca（雪花）

石川県金沢市を拠点に活動。

未来に求められるカタチを創造し、体験を進化させ、価値を革新することを理念に掲げものづくりを行う職人集団。

長く受け継がれてきた伝統技術から、3Dプリンターなどの最先端のテクノロジーまで、さまざまな技術を掛け合わせ、体験価値が最大化する最適なカタチを実現する。

また、この活動を通して、過去から受け継がれてきた技術を未来に繋いでいく。

本リリースに関するお問い合わせ先

「過酷な目にあっている展」PR 事務局（担当：佐藤）

TEL : 03-5774-8896 FAX : 03-5774-8872 E-mail : press@trenders.co.jp